

春季総体 大会規定および申し合わせ事項

- ・2016—2017（公財）日本サッカー協会競技規則を適用する。
 - ・登録は、選手18名以内、指導教員3名以内、外部コーチ1名、合計22名以内とする。（ただし、学校長についてはベンチ入りができる。）転出、けが、病気による場合は登録メンバーの変更を認める。なおその場合、大会1日目の第1試合までに原本（校印が押されているもの）を再度本部に提出すること。それ以降の大会期間中の変更は認めない。ベンチ入りできる者についても上記の22名以内とする。
 - ・試合開始30分前には、監督はメンバー表を2部準備し、本部に提出する。その際、ユニフォームを決定する。（ただし、最終決定は主審が行う）
 - ・前試合の終了時に先発メンバーは本部付近に待機していること。
 - ・飲水タイム、クーリングブレイクの有無については、天候等を考慮して審判が判断する。飲水タイム、クーリングブレイクをとる場合は、両チームに通告し、前後半各1回程度とする。
 - ・ベンチは、プログラム記載対戦表の左側のチームがコートに向かって左側のベンチに入ること。
 - ・試合時間は50分ゲームとする。その際、アディショナルタイムの表示は行なわない。ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）は、原則5分間とする。インターバルの5分終了同時に後半を開始する。同点の場合は延長戦なしでPK方式により、次回戦進出チームを決定する。なお、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
 - ・飲水タイム、クーリングブレイクとウォーミングアップのみ交代要員がベンチから出ることを認める。
 - ・選手交代については、交代して退いた選手が、交代要員となり、再び出場することができる。交代要員（7名）と11名のプレーヤーは、退いた後、再び出場することができる。また、交代回数に制限はない。ただし、交代手続きは、本部で行う。
 - ・交代要員は、出場選手と見分けがつくようなものを着用する。
 - ・大会期間中、2度の警告を受けた者は、次の1試合の出場を停止する。退場処分を受けた者は、次の1試合の出場を停止する。
- ※ ただし、暴力行為等による退場処分を受けた者については、規律・フェアプレー委員会（専門委員長・副専門委員長で構成）で次以降の試合の出場を検討する。
- ・ユニフォーム、パンツ、ストッキング、背番号は、申し込み用紙に記入されたものに統一すること。ユニフォーム、パンツ、ストッキングは異色のものを2種類用意する。
 - ・試合球は認定5号球を使用する。
 - ・合同チームの条件
 - (1) 足りないチームAから足りているチームBへ参加
 - (2) 足りない複数チームでの合同
 - ・会場到着後、指導教員は直ちに本部へ連絡をとること。

春季サッカー選手権（一般強化事業） 大会規定および申し合わせ事項

- ・2016—2017（公財）日本サッカー協会競技規則を適用する。
 - ・登録は、選手18名以内、指導教員3名以内、外部コーチ1名、合計22名以内とする。（ただし、学校長についてはベンチ入りができる。）ベンチ入りできる者についても上記の22名以内とする。
 - ・試合開始60分前には、監督はメンバー表を2部準備し、本部に提出する。その際、ユニフォームを主審が決定する。
 - ・前試合の終了時に先発メンバーは本部付近に待機していること。
 - ・飲水タイム、クーリングブレイクの有無については、天候等を考慮して審判が判断する。飲水タイム、クーリングブレイクをとる場合は、試合開始前に両チームに通告し、前後半各1回程度とする。
 - ・ベンチは、プログラム記載対戦表の左側のチームがコートに向かって左側のベンチに入ること。
 - ・試合時間は50分ゲームとする。その際、アディショナルタイムの表示を行う。ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）は、原則5分間とする。インターバルの5分終了同時に後半を開始する。同点の場合は延長戦なしでPK方式により、次回戦進出チームを決定する。5月21日（日）最終日の順位決定戦は60分ゲームとし、同点の場合は延長戦なしでPK方式により決定する。決勝戦だけは、勝敗が決しないとき、延長10分、決しないときは、PK方式とする。（PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。）
 - ・飲水タイム、クーリングブレイクとウォーミングアップのみ交代要員がベンチから出ることを認める。
 - ・選手交代については、交代して退いた選手が、交代要員となり、再び出場することができる。交代要員（7名）と11名のプレーヤーは、退いた後、再び出場することができる。また、交代回数に制限はない。ただし、交代手続きは、本部で行う。
 - ・交代要員は、出場選手と見分けがつくようなものを着用する。
 - ・大会期間中、2度の警告を受けた者は、次の1試合の出場を停止する。退場処分を受けた者は、次の1試合の出場を停止する。なお、春季総体の警告、退場を引き継ぐ。
- ※ただし、暴力行為等による退場処分を受けた者については、規律・フェアプレー委員会（専門委員長・副専門委員長で構成）で次以降の試合の出場を検討する。
- ・ユニフォーム、パンツ、ストッキング、背番号は、申し込み用紙に記入されたものに統一すること。ユニフォーム、パンツ、ストッキングは異色のものを2種類用意する。
 - ・試合球は認定5号球を使用する。
 - ・決勝戦、3位決定戦ではマッチウエルフェアオフィサーを置く。
 - ・合同チームの条件
 - （1）足りないチームAから足りているチームBへ参加
 - （2）足りない複数チームが合同
 - ・会場到着後、指導教員は直ちに本部へ連絡をとること。
 - ・会場の美化に努め、ゴミ等の持ち帰りを徹底し、迷惑をかけないように注意すること。